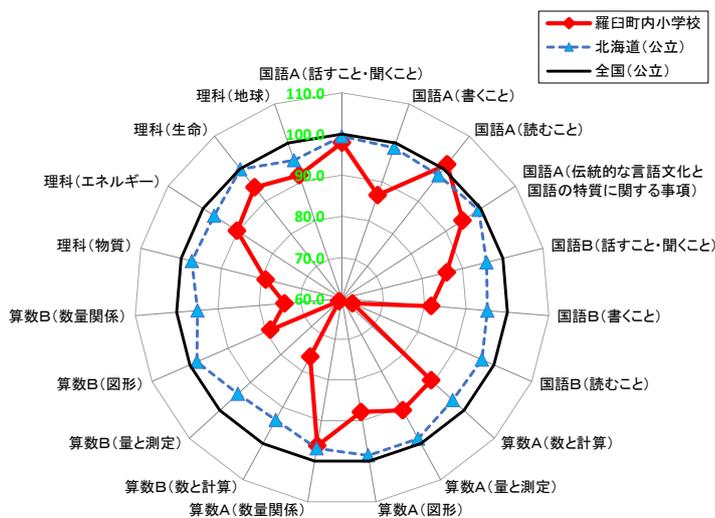


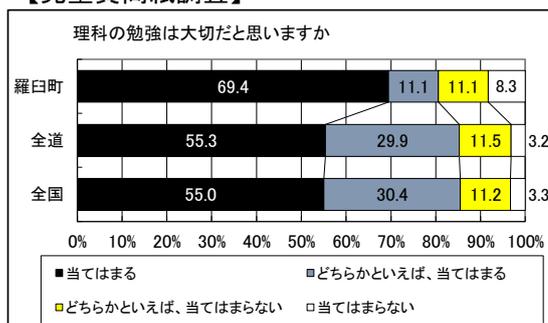
■羅臼町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:36人)

【教科全体の状況】

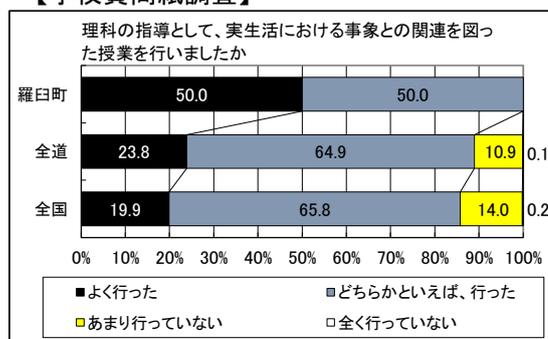
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



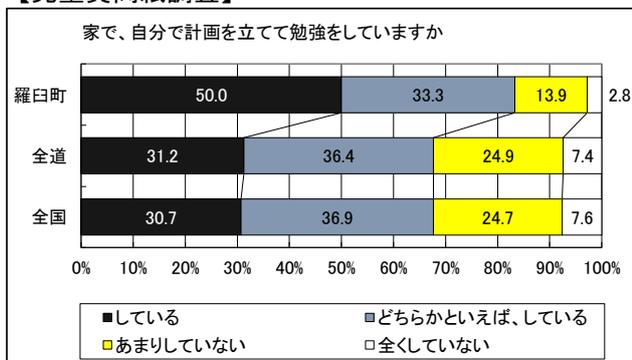
【児童質問紙調査】



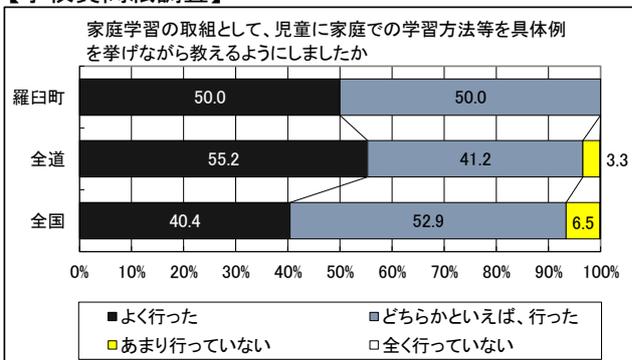
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数量関係」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生命」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、授業改善が図られ、児童は理科の勉強が大切だと思うようになり、理科の「生命」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の勉強は大切だ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、児童が家で、自分で計画を立てて勉強するようになったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 	

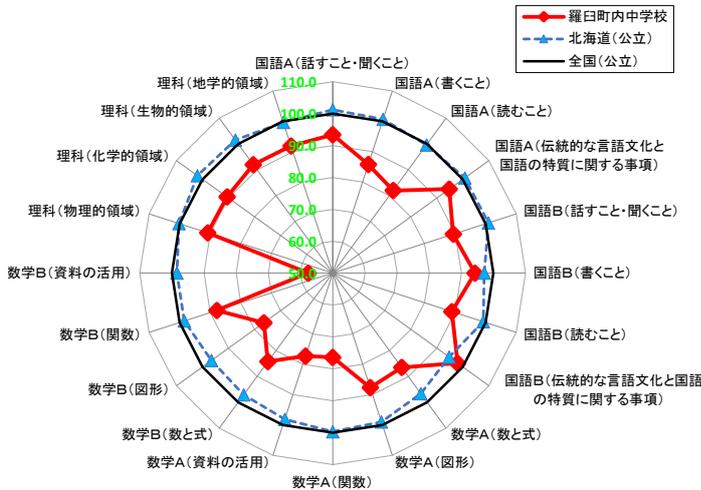
【羅臼町の学力向上策】

- ◎ 学力向上やキャリア教育、ふるさと教育等を重点とした幼小中高一貫教育の推進
- ◎ 保護者や地域住民の協力による「土曜授業」の推進
- ◎ 北海道立教育研究所等と連携した教職員の資質・能力の向上を目的とした研修の実施
- ◎ 大学生等を活用した学習支援事業の推進
- ◎ 「幼小中高一貫教育研究会」作成の手引を活用した生活習慣、学習習慣の確立

■ 羅臼町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:56人)

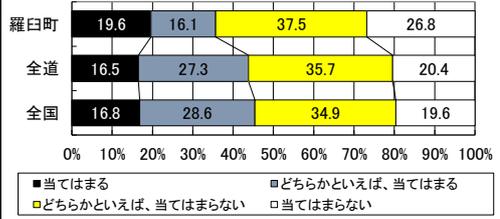
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



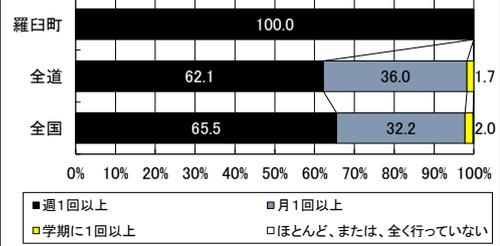
【生徒質問紙調査】

理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



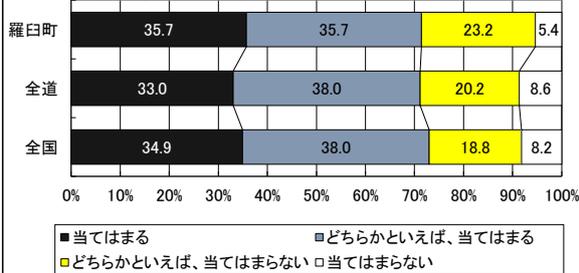
【学校質問紙調査】

理科の授業において、理科室で生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか



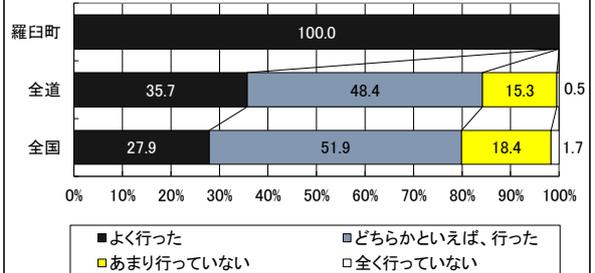
【生徒質問紙調査】

数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学校質問紙調査】

授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Bでは、「関数」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生物的領域」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行ったことにより、授業改善が図られ、生徒が数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うようになり、数学Bの「関数」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の授業において、理科室で生徒が観察や実験をする授業を週1回以上行ったことにより、生徒が理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えるようになったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「理科の授業において、理科室で生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たり週1回以上行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行った」と回答している。 	

【羅臼町の学力向上策】

- ◎ 学力向上やキャリア教育、ふるさと教育等を重点とした幼小中高一貫教育の推進
- ◎ 保護者や地域住民の協力による「土曜授業」の推進
- ◎ 北海道立教育研究所等と連携した教職員の資質・能力の向上を目的とした研修の実施
- ◎ 「幼小中高一貫教育研究会」作成の手引を活用した生活習慣、学習習慣の確立

